

# 清水研究室の紹介

## 研究テーマ

ミクロとマクロを繋ぐ理論を中心に、物理学の基礎的・原理的問題

## 専門分野名

しいていえば、物性基礎論・量子物理学

## 最近の研究内容

1. 量子統計力学の新しい定式化 (2011 –) 「Thermal Pure Quantum 形式」
2. 揺動散逸定理の量子破綻とスクイズド平衡状態 (2014 –)
3. Quantum Thermodynamic Machines (2015 –)
4. 非平衡定常状態の entanglement entropy (2015 –)
5. 有限温度の「マクロに異なる状態の重ね合わせ」の生成理論 (2016 –)

## 駒場キャンパスで研究するメリット

### 望ましい研究環境とは？

- 「どこの所属か」は、ほとんど、どうでもいい
- 「近くに誰がいるか」が重要

### 駒場には多彩な人材が居る！

- 所属は様々だけど、とにかく居る
- 他のキャンパスにはいない（少ない）分野の専門家もたくさんいる
  - － 物性基礎論・統計力学のスタッフは最強かも
  - － 生物物理も最強かも
- 数理学研究科もすぐ近くにある（生協とかでもぼったり会う）
- 生産研、先端研もすぐ近くにある

## 30年度大学院入試における大学院生受け入れについて

- 2022年3月末日に定年退職する予定
- 修士課程で修了する場合には問題ない
- 博士課程修了までは指導できない
  - ⇒ 早期修了を目指すか、途中で他の研究室に移る必要がある

清水研を志望する場合には、以上のことを承知の上で受験して下さい。

---

詳しい情報 → [清水研ホームページ](#)

清水研

検索

